# 2023年度 医療・デザインプロジェクト:最終発表会

## 2024.01.09

#### 【参加施設】

九州大学 大橋キャンパス (日本), 九州大学病院 (日本)

## 【概要】

今年度のプロジェクトの最終報告を実施した。小児外科の待合の課題については、待合におけるパーソナルスペース確保のためのプロダクトや待ち時間の見える化のためのアプリデザインが、バングラディシュ妊婦の検診の課題については、マタニティーロードマップやアプリのデザインが提案された。課題のまとめと美しいグラフィックによる提案が好評であり、授業の後も研究や実装として検討が続けられることとなった。



モニタに表示される接続施設

撮影場所:九州大学病院



コメントする永田先生

撮影場所:九州大学病院

## 小児外科診察案内アプリデザイン提案

約何分後に呼び出されるという従来の一 段階の呼び出し方を、何時何分の前に呼 び出される確率が0%であり、それから どんどん高くなるという仕組みで、二段 階の呼び出しにする

そういうことで、患者さん、特に赤ちゃんと一緒に来院している親たちは手軽に病院内における活動を事前に計画できるように支援する

② 診察待合	待合室	<b>⊙</b>
	9:00▶	呼び出される 確率
呼び出されるまで <b>約50分</b>	現時点	
	10:00▶	0%
		60%
	11:00 ▶	80%

提示されたスライド

撮影場所:九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所:九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所:九州大学病院



九州大学 大橋キャンパスの様子

撮影場所:九州大学病院